



ISAP 2014

International Forum for Sustainable Asia and the Pacific: ISAP
第6回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム



UNITED NATIONS
UNIVERSITY
UNU-IAS
Institute for the Advanced Study
of Sustainability

ポスト2015開発アジェンダにアジア太平洋の声を 低炭素、レジリエントで、包括的な解決策

気候変動はすでに現実のものとなり、緩和策のみならず、その影響への対応も急務となっています。アジア太平洋地域では、経済発展著しい国々からの温室効果ガス排出量が増加する一方、特に貧困地域が気候変動の影響を大きく受けています。また、資源制約も喫緊の課題となっています。

アジア太平洋地域を取り巻く変化に対応し、私たちが享受している社会基盤を次世代に引き継ぐためには、すべての人々が利益を共有できる低炭素型で包括的な開発の推進が必要です。

来年2015年には、持続可能な開発目標(SDGs)や2020年以降の気候変動枠組みといった持続可能な社会の実現に向けた国際的な取り決めが行われます。ISAP2014では、こうした国際的な議論に向けて、様々なステークホルダーとの意見交換を通じて地域からのメッセージを発信します。

2014年

7月23日 水

» 9:30-17:15

7月24日 木

» 9:30-17:45

会場 **パシフィコ横浜**
(横浜市西区みなとみらい)



言語	日本語・英語(同時通訳付)	定員	300名(各日)	参加費	無料
主催	公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES) 国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)				
協力 (予定)	国連環境計画(UNEP)、国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)、アジア開発銀行(ADB)、 経済協力開発機構(OECD)、国立環境研究所(NIES)				
後援 (予定)	環境省、神奈川県、兵庫県、横浜市、川崎市、北九州市、国際協力機構(JICA)、エネルギー資源研究所(TERI)、 横浜国立大学、横浜市立大学グローバル都市協力研究センター、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科、 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所、サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム、日経BPクリーンテック研究所				

お問い合わせ

ISAP事務局

Tel: 046-855-3700 Fax: 046-855-3809 Email: isap2014-info@iges.or.jp

最新プログラム・詳細

<http://www.iges.or.jp/jp/>

交通のご案内

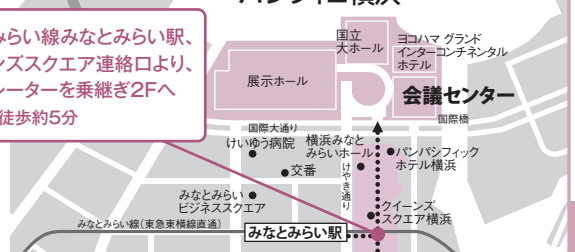
会場 パシフィコ横浜 会議センター

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 TEL: 045-221-2155(総合案内)

- **みなとみらい線** みなとみらい駅より徒歩5分
「クイーンズスクエア方面」改札口を出て、左手奥にある、長い赤のエスカレーターを利用。さらに正面のエスカレーターへ乗り継ぎ左へ、「クイーンズスクエア横浜」の2Fを通り抜け、陸橋を渡ります。
- **JR線・市営地下鉄** 桜木町駅より徒歩15分、バスで7分、タクシーで5分
- **横浜駅**よりタクシー7分、シーバス(船)で10分

みなとみらい線みなとみらい駅、
クイーンズスクエア連絡口より、
エスカレーターを乗継ぎ2Fへ
※駅より徒歩約5分

パシフィコ横浜



ISAP プログラム概要 (予定・敬称略)

※最新のプログラムはIGESホームページにてご確認ください

【第1日目】7月23日(水)

09:30 09:50	オープニングセッション			OP	
全体会合1 アジアの低炭素、レジリエントで包括的な発展の推進: IPCC第5次評価報告書を踏まえて					
09:50 12:20	■ラジェンドラ・K・パチャウリ エネルギー資源研究所(TERI) 所長/気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 議長 ■玉木林太郎 経済協力開発機構(OECD) 事務次長兼チーフエコノミスト代理 ■エミル・サリム インドネシア大統領顧問団議長 ■アブドゥル・ハミド・ザクリ マレーシア首相科学顧問/生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム(IPBES) 議長 他			P-1	
12:20	休憩				
12:35 13:45	ランチセッション1	IGES白書Vからの主要メッセージ: いかにアジアの地域統合を人々と環境への便益につなげるか		L-1	
■チュン・ラエ・クウォン 国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP) 環境開発部長/前韓国気候変動大使 他					
13:45	休憩				
パラレルセッション					
14:00 15:30	2050低炭素ナビ: 低炭素社会へ向けた道筋	アジアでのレジリエント都市の構築: 理論から実践へ	アジアにおける大気汚染・気候変動 戦略へのSLCPsおよびPM2.5 削減対策の統合: 科学、モデル、 アクションの連携	14:00 16:00	ステークホルダー コミュニケーション と意思決定: 福島からの 教訓と地域復興への助言
PL-1		PL-2	PL-3	PL-4	
15:30	休憩				
15:45 17:15	2020年の国際気候変動枠組みと アジアにおける緩和策および 測定・報告・検証(MRV) 手法	IPCC AR5 キーメッセージと アジアにおける示唆: 適応と緩和の 統合を通じたアジアにおける将来的な 気候変動政策のあり方	適応的発展への道筋: 持続可能なアジア太平洋の実現の ために		
PL-5		PL-6	PL-7		

【第2日目】7月24日(木)

09:30	全体会合2 持続可能な社会を創造するために: 持続可能な開発目標、持続可能なライフスタイル、幸福度(Well-being)					
10:30	■カーバー・ザーヘディ 国連環境計画アジア太平洋地域事務所(UNEP-ROAP) 所長 他			P-2		
10:30	休憩					
パラレルセッション						
10:45 12:45	中小企業(SMEs)の低炭素技術移転のための 資金調達: マッチメイキング戦略	生物多様性の持続可能な利用に向けた コミュニティー参画: SATOYAMAイニシアティブ の貢献の可能性と課題	アジアにおける持続可能な開発目標(SDGs)の 実施: ガバナンスの役割と共通理解に向けて ■スレンドラ・シュレスタ 国連環境計画 国際環境技術センター(UNEP-IETC) 所長 他	PL-8	PL-9	PL-10
12:45	休憩					
13:00 14:20	ランチセッション2 アジアの科学的低炭素発展政策形成を支える統合的知識基盤システム	L-2	13:00 14:30	適応と災害リスク削減のシナジー: 関連する課題、優良事例と今後の展望	ラウンドテーブル	
14:20	休憩					
パラレルセッション						
14:35 16:35	アジアの都市の持続性を高めるために: 理論から実践へ	持続可能な開発に向けたステークホルダーの エンパワメントと革新の推進: 地域事例からの学びと今後の見通し	持続可能な開発目標としての教育の向上: 名古屋 ESD世界会議に向けて-持続可能なライフスタイル 実現のための意識変革型学習の推進	PL-11	PL-12	PL-13
16:35	休憩					
16:45 17:45	閉会セッション				CL	

ISAPとは 国際的に活躍する専門家や企業、政府、NGO関係者が一堂に会し、アジア太平洋の持続可能な開発に関する多様な議論を2日間にかけて行うフォーラムです。毎年時宜を得たテーマを取り上げ開催し、持続可能なアジア太平洋に向けた情報共有・発信と継続的な連携の場となることを目指します。

参加申込書 兼 受講票

FAX: 046-855-3809 ISAP事務局 行

※定員に達し次第、締切とさせていただきます。
※お申し込みは本紙1枚につき1名様でお願いいたします。

締切

7月16日(水)
先着順

下記事項をご記入の上、7月16日(水)までにISAP事務局(FAX:046-855-3809)宛にFAXにてお送り下さい。

電子メールにて受講票を返送いたしますので、当日必ずお持ち下さい。※FAXで返送をご希望の場合は、下記欄にチェックの上、必ずFAX番号をご記入下さい。

フリガナ	●参加希望日 <input type="checkbox"/> 7月23日(水) <input type="checkbox"/> 7月23日(水) ランチセッション(軽食代500円を頂きます) <input type="checkbox"/> 7月24日(木) <input type="checkbox"/> 7月24日(木) ランチセッション(軽食代500円を頂きます)
ご氏名	
ご所属	
E-mail	
電話番号	FAX <input type="checkbox"/> FAXでの返送を希望

※ご記入いただいた個人情報、主催者のみが取扱い、第三者には一切提供いたしません。 ※今後、主催者が開催するイベント等のご案内をさせていただく場合がございます。

ホームページからもお申込みいただけます ▶ <http://www.iges.or.jp/jp/>